

# 西日本研修センターにおける研修等の取組み

研修部

## ■ はじめに

西日本研修センターでは、今年度、75科班1830名の研修を計画し実施しています。

ITEA研修につきましては、2022年度より本格的なJVへの移管が開始されます。

今年で最後となる新入社員研修、および協会研修の歴史、経緯について紹介します。

### 1. 協会研修の歴史経緯

協会研修（近畿）については、昭和38年（1963年）電電公社（現NTT）の豊中市にあった京都電気通信学園大阪分室の一部を借り「豊中技術訓練所」として本格的に開始されました。

しかしながら、当該施設では急速に増大する研修需要に対応が困難になってきたことから、昭和44年（1969年）、吹田市の現在の場所に近畿支部「千里技術訓練所」として新たに建物を建設（写真1～4）。

その後、高度化・多様化する情報通信技術に対応すべく平成4年（1992年）建物を更改し、平成23年（2011年）協会運営体制の見直しに伴い、名称を「近畿技術研修センター」から「西日本研修センター」に変更し現在に至っています。



写真1 近畿支部千里技術訓練所 (昭和44年)



写真2 架空線路架渉 (昭和45年)



写真3 局内成端実習 (昭和45年)



写真4 初級線路科実習 (昭和44年)

### 2. 基礎研修所内科実施状況

西日本研修センターでは、基礎研修所内科（12日間）を3コース（58名）、集合型研修で実施しました（写真5～10）。

1回目（5/10～5/25） 22名

2回目（5/26～6/10） 23名

3回目（6/14～6/25） 13名

基礎研修所内科は、情報通信エンジニアリング事業の人材としていち早く立ち上がってもらうため、12日間にわたりネットワーク通信設備の建設、保守に関する基礎的な知識、技能等について幅広く勉強していただきました。

また、各社の新入社員が集うことから、同じ志の仲間たちが広く交流するきっかけにもなりました。



写真5 1回目



写真6 2回目



写真7 3回目



写真8 安全特別講話  
日本コンクリート工業（株）  
濱中弘次 部長



写真9 MDF作業



写真10 成端作業

### 3. リモート研修における「Googleフォーム」活用の仕組み

西日本研修センターではリモート研修において「Googleフォーム」を活用した、アンケート、成果測定、事前アンケートを実施しています。

「Googleフォーム」とは、Googleのサービスの1つとして提供されているフォーム作成ツールで、使いやすさや無料で使える点などからさまざまな用途で利用されています。また、集計や分析をアシストする機能もあり、リモート研修においては研修時間内にアンケートや試験を短時間、円滑に実施するうえで有意義なツールです。

成果測定の手順および画面イメージは下記のとおり。

#### ① 研修センター

Zoom「チャット機能」を使用し、「Googleフォーム」のURLを送付  
<https://forms.gle/XXXXXXXX>

#### ② 研修生

URLをクリックしダウンロード  
 成果測定開始 → 終了後、研修センターに送信

#### ③ 研修センターにおける試験結果確認

研修センターでは個人の結果だけでなく、全体の得点分布や設問ごとの解答状況が表示される(図1・2)。

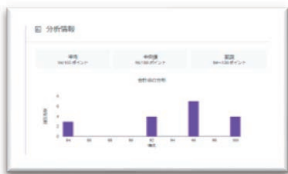


図1 全体の得点分布



図2 設問解答状況

#### ④ 研修生の試験結果確認

研修生が送信すると採点結果(全体スコア)および各設問の解答状況、誤った回答箇所とその正解が表示される(図3)。



← } 誤った回答箇所  
 ← } 正解

図3 個人解答結果および正解

### 4. リモート研修「安全専任者研修科」実施状況

「安全専任者研修科」については、昨年よりリモート研修として実施していますが、今年度は「Googleフォーム」を活用した事前アンケートを実施、とりまとめた結果を研修生にフィードバックするとともに、アンケート結果に基づくグループ編成により、活発で内容のある討議ができました(写真11~16)。

科班名：安全専任者研修科

実施日：2021年9月16日~17日

研修生：23名

研修目的：新たに安全専任者として従事する者に対し、安全専任者として必要な知識、技能等を修得させる。



写真11 講義模様(1)



写真12 講義模様(2)



写真13 講義模様(3)

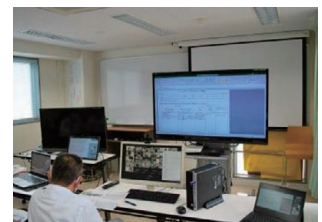


写真14 グループ演習(1)

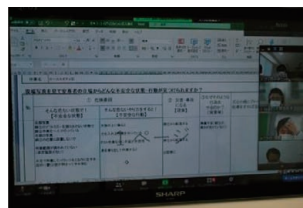


写真15 グループ演習(2)



写真16 グループ演習(3)

#### ■ おわりに

西日本研修センターは、これからも会員各社様の現場目線の技術でカリキュラムの充実・強化を図り、研修を通じ「会員各社の技術力の向上」「設備・人身事故の撲滅」「品質の向上」等に貢献していきます。